

製品名: 切断型 MMP-3 (F100) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09016**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	43kDa

抗原情報

遺伝子名	MMP3
別名	MMP3; STMY1; Stromelysin-1; SL-1; Matrix metalloproteinase-3; MMP-3; Transin-1
遺伝子 ID	4314.0
SwissProt ID	P08254
免疫原	抗血清はヒト MMP3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

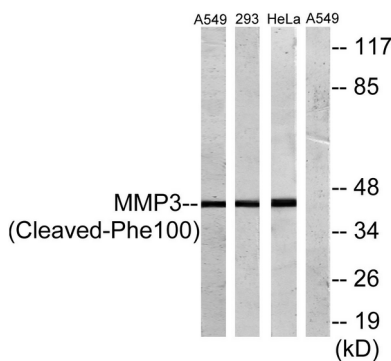
マトリックスメタロペプチダーゼ 3 (MMP3) ホモサピエンス マトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) ファミリーのタンパク質は、胚発生、生殖、組織リモデリングなどの正常な生理学的プロセス、および関節炎や転移などの疾患プロセスにおける細胞外マト

リックスの分解に関与しています。ほとんどの MMP は不活性なプロタンパク質として分泌され、細胞外プロテアーゼによって切断されると活性化されます。この遺伝子は、フィブロネクチン、ラミニン、コラーゲン III、IV、IX、X、および軟骨プロテオグリカン分解する酵素をコードしています。この酵素は、創傷修復、アテローム性動脈硬化の進行、および腫瘍の発生に関与していると考えられています。この遺伝子は、染色体 11q22.3 に局在する MMP 遺伝子クラスターの一部です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: P1'、P2'、および P3' が疎水性残基である場合に優先的に切断する。、補因子: サブユニットあたり 2 個の亜鉛イオンに結合する。、補因子: サブユニットあたり 4 個のカルシウムイオンに結合する。、ドメイン: システインスイッチモチーフに存在する保存されたシステインが触媒亜鉛イオンと結合し、酵素を阻害する。活性化ペプチドの放出により亜鉛イオンからシステインが解離することで酵素が活性化される。、機能: フィブロネクチン、ラミニン、I 型、III 型、IV 型、V 型ゼラチン、III 型、IV 型、X 型、IX 型コラーゲン、および軟骨プロテオグリカン分解する。プロコラーゲナーゼを活性化します。、類似性: ペプチダーゼ M10A ファミリーに属します。、類似性: 4 つのヘモペクシン様ドメインを含みます。、

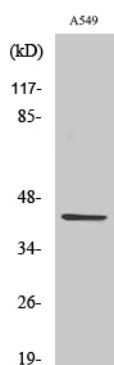
研究分野

血管新生

画像データ



エトポシド 25 μ M で 24 時間処理した A549 細胞、293 細胞、および HeLa 細胞のライゼートを、MMP3 (Cleaved-Phe100) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レンは合成ペプチドでブロッキングした。



Cleaved-MMP-3 (F100) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析